

埼玉県景気動向指数

令和2(2020)年1月分(改訂版)の概要

令和2年4月13日
埼玉県総務部統計課

1 基調判断

- 景気動向指数(CI一致指数)は、悪化を示している。

2 指数の動き

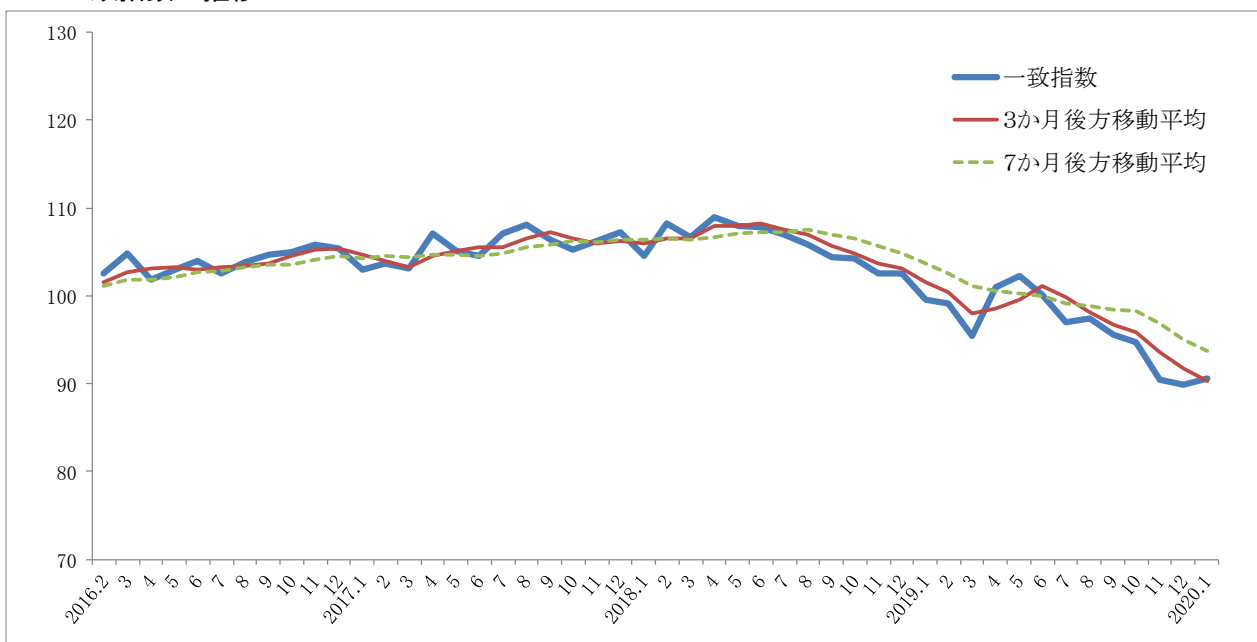
- 1月のCIは、先行指数：103.8、一致指数：90.6、遅行指数：99.2となった。
(平成27年=100)
- 先行指数は、前月と比較して1.2ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は、0.13ポイント下降し、3か月ぶりの下降、7か月後方移動平均は、0.33ポイント下降し、9か月連続の下降となった。
- 一致指数は、前月と比較して0.7ポイント上昇し、5か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は、1.37ポイント下降し、7か月連続の下降、7か月後方移動平均は、1.36ポイント下降し、17か月連続の下降となった。
- 遅行指数は、前月と比較して2.8ポイント下降し、3か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は、0.14ポイント上昇し、2か月連続の上昇、7か月後方移動平均は、0.40ポイント下降し、4か月連続の下降となった。

3 一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C8: 県生産財出荷指数	0.60	C4: 県有効求人倍率(除学卒)	-0.88
C9: 県耐久消費財出荷指数	0.52	C3: 県投資財出荷指数	-0.42
C1: 県生産指数(製造工業)	0.43	C7: 県百貨店・スーパー商品販売額	-0.11
C5: 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル)	0.35		
C2: 県所定外労働時間指数(調査産業計)	0.12		
C6: 県建築着工床面積(非居住用)	0.11		

※ 各個別系列のウェイトは均等です。

4 一致指数の推移



※令和2年3月31日に公表した景気動向指数では、毎月勤労統計調査の令和2年1月分の公表が4月となったため、C2:県所定外労働時間指数(調査産業計)、LG2 県常用雇用指数(全産業)、LG7 県名目賃金指数(定期給与・製造業)のデータは反映していませんでした。今回の改訂版は、毎月勤労統計調査の令和2年1月分までのデータを使用して再推計したものです。